32-1　神楽坂から峠を越えて神田川へ　（距離約 5.5km）

【道順】

飯田橋駅・牛込橋→若宮八幡神楽坂下・ペコちゃん焼の不二家→神楽坂仲通り→芸者新道→かくれんぼ横丁→本多横丁→五十番→小栗横丁→善国寺の几号水準点→兵庫横丁→神楽坂上→筑土八幡神社→赤城神社→神楽坂駅→地蔵坂・渡辺坂など→東京メトロ江戸川橋駅

地図豆知識：峠

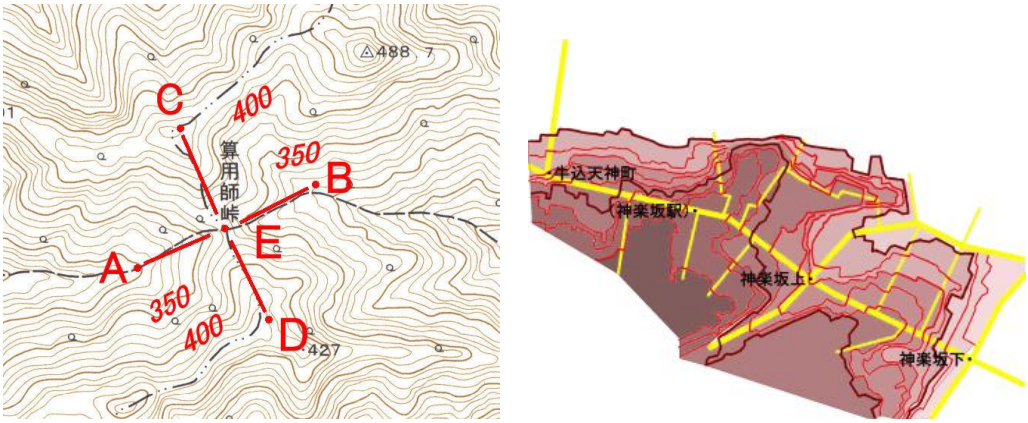
野山歩きでよく言われるところの峠とはどのような場所をいうのだろう。

地図技術者が「鞍部」と呼ぶ、馬の背（鞍を置く位置）のような地形のうち、人や車の交通する場所に限定して、峠と呼んでいる。

「鞍部」とは、図のＡ−Ｂ断面では最も高いところ、これに直交するようなＣ−Ｄ断面では最も低いところになるような地形である。

Ａ地点（標高三〇〇メートル）からＢ地点方向（三一〇メートル）へ歩き進むと最初は上りになり、Ｅ地点（三七〇メートル）を境に、次第に下りになりＢ地点に達する。一方で、Ｃ地点（四四〇メートル）からＤ地点（四四〇メートル）へ歩き進むと初めは下りになり、Ｅ地点を境に、今度は上りになる。このような地形になったＥ地点を峠と呼ぶ。

ただし、「峠」に限定すれば、Ａ−Ｂ断面では一定の凸形の傾斜断面を持っているものの、Ｃ−Ｄ断面では必ずしも凹型断面にならない場合もある。すなわちＣ−Ｄ断面が一定の上り、あるいは下り傾斜にある場合でも峠と呼んでいる。



峠と神楽坂付近の地形

【街歩き解説】

今回の街歩きは、超有名な坂道歩きである。

明治期中期から先、牛込地区最大の繁華街であったという神楽坂。その名は、「この辺りの祭礼で神輿が通るときに神楽を奏したから」「若宮八幡の神楽の音がこの坂まで聞こえたから」などといわれている。

神楽坂といえば、裏通りの料亭街を歩く着物姿のお姉さんと三味の音が連想されたのだろうが、今では街歩きする男女で賑わう、明るく楽しい坂の道である。

神楽坂商店街とペコちゃん

地図にこだわりを持つ人としては、等高線の入った地図も参照しながら、坂道と路地を楽しみつつ、上り下りに注目して飯田橋駅（標高 7m ほど）から歩きを始める。外堀にかかる牛込橋を後ろにして、交差点を渡るとすぐにペコちゃん焼の不二家が目に入り、やや急な坂が始まる。

和菓子や陶器などを売る店を気にしながら通りを二百メートルも進むと、ちょっとした坂の上に出る（標高 18m ほど）。ということで、飯田橋駅のある神楽坂下から「五十番」や「善国寺」手前までは、小さな尾根を上っている。その証拠に、この間は、左右どちらに折れても下りの坂道になる。

しかし、ここは「神楽坂上（交差点）」ではない。

中華まんじゅうの「五十番」を過ぎて、やや坂を下り、南西から北東へと流れる川底のようになった大久保通りとの交差点が「神楽坂上」である（標高 14m ほど）。

少々ややこしいのですが、「神楽坂上」は坂の上ではない。それどころか、少々の谷底である。

神楽坂（通り）のてっぺんは、底になった「神楽坂上」交差点から、再び坂を上って三百メートルほど進んだ、東京メトロ東西線神楽坂駅周辺にある（標高 24m ほど）。

この辺りは南から北へ下る斜面の途中になる。神楽坂から続く道は、この先で西に下る地蔵坂となる。さらに、大きく北へ折れると渡邊坂や早稲田通りとなって下りきると神田川に出る。

　であるから、神楽坂駅は峠にあって、現在の神楽坂町名は飯田橋近くの神楽坂下から、この辺りまでをいう。ここまでは上り下りがあって、一連の「坂」としては、少し矛盾があるからだろうか、神楽坂を説明する標識は、「五十番」や明治期の高さの測量に使われた几号水準点のある「善国寺」辺りで終わっている。

　さて、地形観察だけでは、おもしろくないからから、神楽坂の左右にある小路をめぐる。
　芸者新道、小栗横丁、本多横丁、兵庫横丁、かくれんぼ横丁など地名を聞いただけで楽しくなる石畳の小さな通りや階段道の両側には、日本料理をする割烹などが多くあって、表通りとは異なる雰囲気を持っている。
　そうした建物に見とれて、ちょっと迷うといい気持ちになる。
　そして、人生を思わせるように、てっぺんよりも坂のとちゅうに楽しい、興味深いものが多くある。小道の曲がりや階段道、小物を売る店や雰囲気のいいレストランも。

善国寺几号水準点と東西線神楽坂駅付近の神楽坂の最高所

かくれんぼ横町と本多横丁で

ルートマップ

文京区
水道一丁目
水道二丁目
水道町
改代町
西五軒町
東五軒町
新小川町
後楽二丁目
関口二丁目
目白通り
赤城下町
赤城元町
白銀町
筑土八幡町
神楽坂六丁目
神楽坂五丁目
神楽坂三丁目
神楽坂二丁目
神楽坂一丁目
津久戸町
下宮比町
揚場町
神楽河岸
横寺町
岩戸町
若宮町
袋町
北町
中町
南町
北山伏町
南山伏町
細工町
納戸町
市谷砂土原町三丁目
富士見一丁目
富士見二丁目
飯田橋駅
牛込神楽坂
東京理科大学
東京逓信病院
日本歯科大学
富士見小学校
至日本橋
至御茶ノ水駅
至首都高環状線
至東京駅
至九段下駅